



## 民主党オバマ大統領がつくった 「中国甘やかし」

## 共和党トランプ大統領が 厳しく「躰ける中国」



## 鈍重で何もできない(役立たず)の習近平

「中国の南シナ海岩礁埋め立て」は、「オバマ大統領」が「習近平」に強く抗議できなかったことが原因。

中国が違法な埋め立てをはじめたら、「即座に止めるよう」にオバマ大統領が言えば習近平も埋め立てを止めたかもしれないが長い間、放置しておいたものだから、「滑走路のある埋め立て岩礁が4つ」、そのうち1つは3000メートル超の戦闘機の離着陸できる軍事基地となってしまう。

岩礁でも一度埋め立ててしまえば、海上の突起物。船は座礁するし、領地領海と言われればよけて通らなければならない。ミサイルか爆弾で埋め立て地を吹き飛ばしてしまえばよさそうなものだが戦争行為のようで外聞が悪い。

アメリカ軍の戦艦が【航行の自由作戦】でアメリカ海軍が近づけば周りは100隻を超える中国ボロ船でびっしりと詰め寄られる。

その一方、習近平が「アメリカさん、

なんなら、戦争してもいいんだぜ」とすごんでオバマ大統領が「まあまあ、一つ穏便に」としっぽを巻いてキャン、といったとか・・・。

中国からたっぷりと資金援助された民主党はワイロで太った中国高官の子弟、妻、お妾を受け入れ、大統領のお仲間の弁護士グループがアメリカ国内での便宜をイロイロと、とりはからう。

◆この際は威勢の良い不動産キングのトランプ大統領にスギちゃん張りに「俺はなあ、オバマとは違うぜーエッ。髪も金髪だろ」「ハンバーガーの一气食いみせてやってもいいぜー」「ワイルドだろー」とご登場願おう。

「南シナ海岩礁埋め立てな一、中国の金で元通り岩礁に戻してもらおうぜーエ。軍事演習がわりに跡形もなく吹き飛ばしてやってもいいんだぜー」「かかった金は習近平クンが払うんだぜー、他人の土地に不法建築したんだから責任をもって元に戻すんだぜー。」どうだい、ワイルドだろう。



『弱い国は強い国に負ける』ものだ。  
「アメリカ」と「中国」  
どちらが弱いのか？

共産党一党独裁の中国は「ならず者国家」。悪（ワル）である。

しかし、国際社会には警察がない。

取り締まるものがないのだ。「行儀の悪い」ならず者の「やりたい放題」「傍若無人」。

罪な「ノーベル平和賞」をもらったオバマ大統領は「アメリカは世界の警察官ではない」と宣言。

オバマ大統領はノーベル賞をもらってから一段と弱腰になり中国からやって来た習近平氏に「私はノーベル賞をもらった大統領だ。太平洋をハワイで2つに分

断し、アメリカと中国で分けようという申し出は受けられない。」

「そんなことをしたら日本からクレームが来る。日本はアメリカの同盟国なのだよ」オバマ大統領はここまで言うのが精いっぱい。

世界は今、無法地帯なのだから独裁国家の独裁者の一存ですべてが決定する。

武力は何よりも優先するパワーだ。

アメリカのトランプ大統領だって北朝鮮の金正恩を「リトル・ロケットマン」と散々バカにしても、シンガポールで満面の笑みをたたえて熱く握手を交わしたではないか？

北朝鮮の刈り上げクンが「核弾頭と運搬手段であるミサイルを開発終了した」と発表したとたん、2018年6月12日の会談決定の経緯を忘れてはならない。